



2020



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2019 - 20 会長主題

もっと地元を身近に感じようぜ！

あずさ部長	赤羽美栄子(松本)	「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために」
東日本区理事	山田敏明(十勝)	「勇気ある変革、愛ある行動！」
アジア太平洋地域会長	田中博之(東京多摩みなみ)	“ Action! ” 「アクション！」
国際会長	Jennifer Jones(オーストラリア)	“ Building today for a better tomorrow ” 「より良い明日のために今日を築く」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠・金本伸二郎
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2020年 1月
 <IBC/DBCの月>

と き 1月21日(火) **15:30-17:30**
 と ころ 山手センター 101号室

受付	飯野さん
司会	会 長
開会点鐘	会 長
モットー・ワイズソング	一 同
聖句朗読・祈祷	飯島さん
ハッピーバースデー	
臨時総会 次期役員、今後の方針その他の件	
ニコニコ	一 同
報告・連絡事項	各担当
閉会点鐘	会 長

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

万物は言(ことば)によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。

ヨハネによる福音書1章3-4節

1月 HAPPY BIRTHDAY

星住秀一さん 24日 金本伸二郎さん 27日

12月報告

会員在籍数		11名
例会出席者	メ ン	6名
	メネット	一名
会員出席率		55%
ゲスト・ビジター		一名
		合計 6名
ニコニコ	一 円	(累計 20,269円)
B F	国内切手—g	外国切手—g

会費の納入は、会計(中村・金本)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。

三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」



あずさ部部大会 参加の記

浅羽俊一郎

12月14日(土) 久しぶりに松本へ出向いた。行きのスーパースーパーあずさでは東京サンライズクラブの面々と歓談し、駅沿いの蕎麦屋で腹ごしらえし、タクシーを選ぶメンをよそに、会場のある梅風閣へ急ぎ足で向かう。

第1部部会では赤羽美栄子部長から台風19号の予想外の甚大な被害のため、部大会が2ヶ月ずれ込んだことへの理解と、同時に恒例のアジア賞(留学生の作文コンクール)授賞式を共に祝えたことへの感謝の挨拶があった。来賓はアジア・太平洋地域会長の田中博之氏、山田敏明東日本区理事の他にも”Change! 2022”で栗本治郎委員長初め、チームメンバーたち。また9月に計画されていた八王子クラブ25周年記念例会が台風15号のために土壇場で取りやめになった件では、改めて並木会長から報告と多くのメンからの支援に対して感謝の言葉があった。

第2部特別講演では松本クラブの北村豊メン(歯科医師)がアンチエイジングについて、人間が自然の生態系から如何に隔たった生物になってしまったかをご自身のマレーシアでの原住民との生活体験をシェアしながら面白くまたドキッとさせながら話された。「あずさの道」は歌ってもらえたが、まだ改善の余地あり。

ロビーでは長野クラブのメンバーたちが被災者支援で地域の名産リンゴを販売。私も一袋買わせてもらった。

後半は「第21回アジア賞授賞式」若い学生たちは受賞者とそのクラスメイト。選考委員長から選考基準の説明があった。今回は「留学によって

切り開かれた人生」「祖国と違う日本の風習」など4つの課題テーマで募集。26名の応募から12名が受賞した。最優秀賞(5万円)は韓国からの留学生のキム・ビョンガン君が獲得。留学生による踊りと演奏も取り入れたユニークな授賞式だった。

懇親会は御園生好子次期部長が乾杯の音頭。留学生たちとの楽しい交流の場となった。森本俊子長野クラブ会長からは災害の現状報告があり、板村次期理事も挨拶。そういう私は前回アジア賞での体験を思い出し、今回も壇上に上がり、キャンプソング「大きな歌」(追っかけ歌)を留学生・ワイズメンに唱和してもらった。この歌は歌詞は短く、旋律も覚えやすく打って付け。宴もたけなわ、赤澤睦子会長の閉会の挨拶で楽しかった部大会も成功裏に終了。

今回の出席者は78名、山手クラブからは浅羽一人が出席しました。

松本クラブの皆さん、お疲れ様でした。皆さんのチームワークとエネルギーに敬意を表します。
.....

おたより(1)

<上妻英夫さん> 「お世辞には 卒寿とかえず 初つどい」 久方振りにお会いした新春の会合 お世辞ではめて下さる。もう卒寿ですよと返す言葉です。

<戸坂昇子さん> 山手クラブのブリテンをありがとうございました。例会の様子、山手センターのクリスマスの様子など、楽しく読ませていただきました。

と き：12月12日（木）12:00～14:00

ところ：山手センター 101号室

出席：上妻、浅羽、飯島、飯島愛子、中村

5名

久しぶりにお弁当を頂きながら懇親と意見交換のひと時でした。議題は2点ありました。(1) 多文化共生プログラムを山手 YMCA と共催する件と (2) 山手クラブの今後のあり方・次年度の役員体制の件、でした。それぞれ手短かに報告します。

(1) 多文化共生プログラムを山手 YMCA と共催する件

山手 YMCA と来春の共催を検討してきた多文化共生プログラムですが、「茶道入門」に関しては「入門」とは言えテーマが重く、果たして地元住民と外国籍の人たちを取り込めるか、内容紹介、募集方法などが懸念事項。また、講師からの助言では茶道を通して日本文化に触れるにはある程度回を重ねる必要がある、とのこと。一方 YMCA 側は年に数回テーマを変えて異文化交流の機会を提供し、徐々に YMCA が外国籍の人たちの集まれる場にしていきたい、という考え。クラブとしては引き続き検討し続けていく必要がある。

(2) 山手クラブの今後のあり方・次年度の役員体制の件

現在クラブ在籍者は11名。2013年に60周年記念例会を成功させた頃から本クラブは高齢化が急速に進み、例会運営、ブリテン発行、諸大会への参加もごく限られたメンバーが担ってきている中で、クラブ本来の活動として YMCA 奉仕・交流活動・会員誘致などがより難しくなっている。次期役員の人選が具体的に日程に上がっているが、それとあわせて、クラブとしての今後の方向をどうするか、全員で真剣に考える必要がある。

色々と意見が出されたが、残念ながら具体案はなく、1月例会をクラブ総会として開催し、会員で協議することにした。

(浅羽 記)

おたより(2)

<浅羽俊一郎さん> 先月23日、孫娘、悠花(はるか)が与えられました。夫婦は父母から祖父祖母になると関係が変わるのでしょうか？

1. チャリティーコンサート

台風19号による被災地復興支援のため、オルガニストの飯 靖子(いいせいこ)さん、ヴィオラ奏者の飯 顕(いいあきら)さん、青山学院女子短期大学「グロリアス・クワイア」の皆さんによる、チャリティーコンサートを開催します。

【日時】1月24日(金)19:00開演(18:30開場)

【場所】日本キリスト教団霊南坂教会

益金は、長野市の社会福祉法人「賛育会」豊野事業所の復興のために用います。

「賛育会」はもともと東京大学YMCAの会員が設立した病院で、豊野事業所は特別養護老人ホームやグループホーム、クリニックなどを併設する、地域の医療・福祉の大型拠点です。千曲川の決壊で1階が全て冠水しましたが、「長野市北部災害ボランティアセンター」や支え合いセンターの運営を担うなど被災者支援を行っており、東京YMCAもこれをサポートして共に支援活動を行っています。

2. 連続講演会

「東京YMCA オープンスペース liby(リビー)」は、「生きづらい社会を生き抜くために」をテーマに連続講演会を開催しています。第2回目は、「新ひきこもりについて考える会」世話人であり、「一般社団法人ひきこもりUX会議」代表理事の林恭子さんを講師にお話をうかがいます。

この講演会は、2019年5月に川崎市で起きた殺傷事件以降、ひきこもりが犯罪者予備軍ととらえられるような報道や発信が目立ったことに危機感を覚えて企画したものです。10月5日に開催された第1回では、ひきこもり当事者発信メディア「ひきポスト」編集長の石崎森人さんが講演。ご自身の経験をもとに「ひきこもりは犯罪者予備軍ではない。まずは自分を大切にしよう」と話しました。

【日時】2月1日(土)13:30～15:30(13:00開場)

【会場】東京YMCA山手コミュニティーセンター

(星住秀一)



2020年・令和2年

在京ワイズ合同新年会

浅羽俊一郎

無事明けました。おめでとうございます。新年早々物騒な事件が世間、否、世界を騒がせていますが、如何お過ごしでしたか。11日(土)東陽町のYMCAに集まったワイズメンはいつも通り元気発刺に交わりと励まし合いの充実したひと時を楽しむことが出来ました。

この日は先ず10時にセンターの一階ホールで開かれた**会長会**に出席しました。例年ですと大きく「ロの字」型に並べられたテーブルを在京クラブ会長と担当主事が囲んで、東京YMCAと在日本韓国YMCAの諸報告を聞いた後は会長たちが順にクラブ近況と課題を発表する形式的な会合でしたが、今年は最初から5つの島のそれぞれに数クラブの会長・主事が囲んで、諸報告を早く切り上げてYMCAとワイズのパートナーシップについて話し合い、その間にメン・主事もお互いに知り合うことにもなりました。

昨年までの単調だった2時間が生き活きたものになりました。テーブル毎の報告の中ではクラブと所属センターとの協力に加えて、在京18クラブと東京YMCAと一緒に取組めるような課題をも模索してみようとの意見が印象的でした。機を同じうして菅谷総主事からオール東京の国際協力募金に在京グループとして関わってもらえないか、との提案がありました。準備に当たられた柿沼メン、太田メンの2幹事に感謝。

在京新年会のうち開会と映画会の会場は少し離れた社体・保育専門学校ビルの2階で開催され

ました。12月に松本で開催されたあずさ部部大会には当クラブは私1人だけだけに今回5人参加出来て良かったです。

今年はホストが東京クラブ。在京クラブ会長会幹事の柿沼メン(東京グリーン)が開会点鐘、東京クラブの加藤会長が歓迎の言葉。祝辞は日本YMCA同盟の神崎総主事、アジア・太平洋地域会長の田中メン、東京YMCAの菅谷総主事の3名。菅谷総主事は大晦日に調理用牡蠣を生で食べて一家全員元旦は腹を下した、と一同を笑わせた一方で、東京YMCAの方針として「原点回帰」「顧客目線」を強調された。先が不透明な時代に、場当たり・近視眼的に活動せずに、組織の礎を確認し、目標を見定めて進んでいくことは会員・職員の安心を担保するだけでなく、世間の信頼をも育てていくことになると思います。

映画鑑賞「大地の詩～留岡幸助物語～」は北海道家庭学校の創設者留岡幸助と彼を支えた人たちを描いた映画を上映。

夕食懇親会は会場をセンターホールに戻し、比奈地メンの進行、山田東日本区理事の乾杯で始まりました。寿司、おでん、パスタ、ピザなど豊富なメニューと和やかな歓談で時間は瞬間に過ぎてしまいました。

在京18クラブと8つのビジタークラブからの13名を加えて参加者は合計115名になりました。(当クラブからは飯島夫妻、飯野、中村と浅羽の5名。)

.....

編集雑記

〇いよいよ東京オリンピックの年を迎えた。新年早々きな臭いニュースも飛び込んで来たが、世界中が平和と安全の中でオリンピックを迎えることができるようにと切に願う。

〇初の東京オリンピックが開催されたのは1964年、その前年に東京山手クラブは設立10周年を迎えた。その時の会員は34人、最年長者は後藤安太郎(初代会長)と淵田多穂理で共に66歳、最若年者は30歳であった。後藤(オリジン電気社長)は東京YMCA第11代の理事長(1964～67)を務めた。淵田は62年にワイズソングOnce more we standの訳詞「いざ立て心あつくし」を作った。

〇ワイズの2019～20年度も残り半年を切った。お互いに健康に留意しつつ、各々の知恵と力を出し合ってまいりましょう。(F. K)